2017 U16男子日韓交流 親善試合（日本ラウンド）

試合結果・戦評報告書

競技日	2017年10月14日		
種別	Ｕ－１６男子	会場	沖縄県浦添市民体育館

Aチーム名	Bチーム名
JAPAN	KOREA

得点合計	小計		小計	得点合計
20	9	前半	9	21
	11	後半	12	

戦評

日本・沖縄県浦添市で日韓交流日本ラウンドのゲームが始まる。

日本チームは、沖縄の大応援に背中を押されながら、韓国ラウンドでのリベンジを誓う。序盤は互いにミスが重なり、ロースコアの展開になる。

日本は松本大が速攻や巧みなフェイントから連続得点を決める。対する韓国もBPのカットイン、ミドルで応戦する。日本のアグレッシブなDFに韓国のOFは戸惑い、ミスが続いた。そこで差を広げたい日本だが、相手GKにノーマークシュートを何度も阻まれ、点差は広げられず、9-9の同点で前半を終える。

後半は、開始早々に森本の強力なブラインドシュートでリードするが、4分から韓国BPの強い個人技による4連取で逆転される。しかし日本も三谷、木村のサイドや、藤坂、豊増のカットインで必死に食らいつく。

試合中盤から終盤にかけて、体力的に苦しくなってきた韓国は、ペースを落とし、緩急を使ったセットOFに狙いを変え、リードを守る。日本は、勝負所で守護神西原を軸とするDFが機能し、相手のミスから速攻のチャンスを作るが、つなぎのパスミスが目立ち、相手にボールを与えてしまう。ラスト10秒でキャプテン伊禮の渾身のミドルで同点とするが、最後に11mからのノータイムフリースローを決められ20-21で敗れた。

悔しい幕切れとなり、涙を流した日本チームだが、選手達はこの日韓交流を通して海外で戦える大きな自信を手に入れた。この試合が、未来の日韓両国のハンドボールをさらに発展させると信じている。